



道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPPO労働組合内)

電話03 (3563) 6744

URL <http://www.doukenroukyou.com>

〈第34回定期大会報告〉

2019年7月19日(金)に日暮里のホテルラングウッドにて第34回定期大会が開催されました。今大会での代議員の人数は、加入組合毎の規程人数と地方協議会会長の4名を合計した総数33名であり、本大会代議員33名の出席により大会の成立が確認されました。来賓は、長谷工グループ労働組合(澤村中央執行委員長)・通建連合(反田議長)・基幹労連(上野中央副執行委員長)・日建協(戸井田副議長)・全電工労連(谷田部副議長)が出席され、長谷工グループ労働組合の澤村中央執行委員長よりご祝辞を賜りました。



その後、議事に従い各担当役員より2018年度経過報告・2019年度運動方針(案)・2019年度予算(案)の説明があり、全ての議事が満場一致で承認されました。

役員選挙では、副議長の松浦孝氏(前田道路労働組合)、尾崎吉明氏(大林道路職員組合)、江島貴行氏(大成ロテック社員組合)、中央執行委員の八波良一氏(NIPPPO労働組合)、西田達郎氏(東京舗装工業社員労働組合)の5名が退任し、新任として、副議長に小林和彦氏(前田道路労働組合)、中島雅浩氏(大林道路職員組合)、山尾浩仁郎氏(大成ロテック社員組合)、中央執行委員に後藤陽平氏(NIPPPO労働組合)、豊田将司氏(東京舗装工業社員労働組合)が就任しました。退任された松浦副議長はじめ5名の役員におかれましては、長年の道建労協での活動、大変お疲れ様でした。

〈2019年度の取り組み〉

第34回定期大会に於いて議長に再任されました赤田 淳と申します。引き続き、道建労協加盟の各単組の皆様にとって、少しでもお役に立てるよう一生懸命頑張ります。

さて、2019年度の始まりに当たり一言ご挨拶申し上げます。

昨今、中国経済の先行きなど海外経済の不確実性に不安はあるものの、経済は緩やかな回復基調であり、建設投資についても増加傾向です。我々道路建設業界におきましては、原油高騰の影響や営業停止の影響もあり、昨年は減益傾向にありました。また、7月には合材カルテルにより、排除措置命令と課徴金納付命令を受けました。まずはコンプライアンスを守り、今後独占禁止法違反行為を絶対に行わないよう、クリーンな道路建設産業でなくてはなりません。我々道建労協が目指すクリーンな道路建設産業とは、しっかり休める業界です。各省庁、各団体、各単組との情報交換を図り、良いものは水平展開し、職場環境改善のお役に立てるよう活動していきます。

皆さんご存知の通り、私達は6月と11月に土曜閉所推進運動を行っており、各省庁、各団体、道建労協加盟単組はもちろん、非加盟の同業者にも訪問し、土曜閉所を要請しています。今年4月から労基法改正により労働時間の上限時間が設定され、時間短縮、休日確保の意識が高まっている中、6月の土曜閉所アンケートでは、第2土曜日の閉所率は初めて60%を超えました。道建労協の目標は、第2土曜閉所率70%、月全体土曜閉所率50%です。私達は、少しでも早くこの目標を達成できるよう活動し、『働きがいのある職場の環境づくりと豊かな生活の実現』というビジョンを持ち続け、魅力ある道路建設産業を目指していきます。

(議長 赤田 淳)



「プロレス業界」

アントニオ猪木が創業した日本最大のプロレス団体である新日本プロレスは、1998年に過去最高益を計上したものの、その後、K-1や総合格闘技の台頭や、スター選手の流出により、業績は、低迷し、2005年には、債務超過に陥るといふ厳しい経営状態となりました。当時は、プロレスファンを自負している私でさえ、娯楽が多角化した昨今において、プロレス業界の復権は困難であると感じました。しかしながら、従来は行っていなかった地道なプロモーション活動や、女性や外国人等を新規ターゲットとしたマーケティング等が功を奏し、徐々に業績は回復し、2018年7月期には1998年を上回る最高益を達成しました。過去の慣例に縛られず、何事もあきらめず真摯に取り組んだ結果が、プロレス業界の現在の復権に繋がったのだと思います。道路建設産業の土曜閉所や労働環境の改善についても、決してあきらめずに活動すれば、必ず達成できると思います。迷わず行きましょう！

大成ロテック社員組合

山尾 浩仁郎

フリー
ウェイ

第

第33回労使セミナー

2019年1月17日(木)、ホテルラングウッドにおいて第33回労使セミナーが開催されました。当日は道建労協加盟単組の執行部や建設産労懇の役員の皆様、道建協総務研究会を中心とした加盟各企業の総務・人事部門の皆様をお招きし、講師にコーチング・ジョイ代表、日本アンガーマネジメント協会アンガーマネジメントファシリテーターの、宮崎ひろみ氏をお迎えして『気持ちよく働くためのアンガーマネジメント～そのイライラ、何とかしませんか?～』と題し、講演していただきました。

今回のセミナーは、「上手な叱り方のポイント」「アンガーマネジメントの実践」「アクションプラン」の各テーマについてワークショップ形式で行われました。

叱る時のポイントとして、①ルールで叱る②行動、結果、行為、ふるまいについて叱る③1対1で、面と向かって叱る④リクエストを伝えるとのことで、NGワード集としては、①過去に遡る言葉②責める言葉③決めつける言葉④程度言葉となり、叱る主目的は“相手へのリクエスト”であり、“自分の気持ちを伝える”のは第二の目的になるそうです。

イラッとしたその時にメモする習慣をつけると、一瞬冷静になれる効果があるとのことで、皆さんも実践されてみてはいかがでしょうか。

最後に、道建労協のビジョンは「働きがいのある職場の環境づくりと豊かな生活の実現を目指す」です。諸問題の解決に向けて継続して活動してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。



前田道路労働組合 龍王 嘉比士

第34回単組支援セミナー

2019年7月19日(金)、道建労協の第34回定期大会終了後、毎年恒例となっている「単組支援セミナー」が開催されました。今回はj. union株式会社より心理カウンセラーの星野伸明氏を講師に迎え、「短時間でよい関係を築くコミュニケーション」というテーマで講演がおこなわれました。その中で印象に残ったのは、「〇〇しないように」のような否定語を使って指示をすると相手が無意識のうちに否定語の状況を思い浮かべてしまうためできるだけ肯定語を使用したほうがよいということと、同じ間違いを繰り返すことに注意をする際に「何度も言わせないで」と言うのではなく「大切なことだから覚えておいてほしい」と「〇〇してほしい」という願望を伝えることで相手が肯定的に捉えることができるという内容でした。意識をしなければどうしても使用してしまう否定語の指示を改めなければいけないと痛感した大変有意義なセミナーでした。

大林道路職員組合 中島 雅浩



北陸・東北地区 関係団体及び加盟単組企業訪問

2019年5月27日（月）東北地区、30日（木）北陸地区の地域交流会と併せて各地区関係団体と加盟単組企業の訪問を行いました。2019年4月に働き方改革関連法が施行され、時間外労働の上限規制や有給休暇の取得（年5日）等が義務付けられたことにより、業界団体および各加盟単組企業においては、従前にも増して、時短・休日取得に対し真摯に向き合おうという姿勢が感じられました。又、減少する各社人材の確保や離職防止という観点からも企業が独自にルールを決めて土曜閉所及び休日取得活動に積極的に取り組んでいる印象を受けました。土曜閉所及び休日取得活動を推進していくには、全国で共通した取り組みが必要となりますが、並行して、各地区ごとの実効的な取り組みが行われなければなりません。その為には、道建労協の加盟単組間でも取り組みについて情報を共有して、労使一体となって出来ることから一つずつ改善し、前に進まなければならないと思います。各加盟単組が一丸となって土曜閉所活動に取り組み、働きがいのある職場と豊かな生活の実現を目指していきましょう。

大成ロテック社員組合 江島 貴行



2019年度道建労協年間スケジュール

第34回定期大会にて承認されました年間スケジュールを紹介いたします。内容については前年とほぼ同じであります。活動の経緯、報告については当ホームページや機関紙などで紹介いたします。

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
各種会議	三役・中執			三役・中執			三役・中執				三役・中執	
大会	単組大会	単組大会	単組大会									定期大会
企業訪問			企業訪問							企業訪問		単組大会
研修会						労使セミナー						単組支援セミナー
地協活動	幹事会			幹事会			幹事会			幹事会		地協代表者
春闘への取組			年齢構成調査	調査時報			基本方針	情報交換	情報交換	情報交換	情報交換	
産 労 懇		運営委員会 土閉共同プレス			総会 セミナー		運営委員会			運営委員会 土閉共同プレス	運営委員会	
機 関 紙		98号			番外編	99号						番外編
ポ ス タ ー				土曜閉所							土曜閉所	
アンケート					土曜閉所							土曜閉所
関連団体訪問 その他			厚労省・国交省 道建協・日合協 加盟単組	全国ボウリング大会						厚労省・国交省 道建協・日合協 非加盟単組	休日フォトコンテスト	

地協のない地域の交流会

東北地協



2019年5月27日（月）に仙台カーテンパレスにて地協のない地域の交流会（東北地区）が開催されました。交流会では、主に各単組の土曜場所運動に向けた取り組みと時短・休日取得の取り組みについて意見交換を行いました。

私は3年連続でこの交流会に参加させてもらっていますが、各単組がこれまで以上に労働環境の改善に向けて具体的な取り組みを試行錯誤していることが印象に残りました。なかでも、休日出勤や残業を上司の許可制にしている単組や、タブレット等の電子機器を積極的に導入し時短に繋げている単組などの取組状況を伺うことができ、より魅力ある業界にしていこうという前向きな意気込みが伝わる意見交換会となりました。

しかしながら、同時に、現場レベルでは改善を重ねながらも課題は多く存在し、長時間労働・人員不足・若手社員の離職などの諸課題については、一筋縄ではいかないという意見も多数挙がられてました。我々が直面しているこれらの課題に対しては労使共通の認識を持って改善に向けて取り組まなくてはならないということを改めて各単組の方々と共有することができました。

会議終了後の懇親会では、各単組の方々とさらに交流を深めることができ、同じ道路建設産業に従事する方々と話す機会は貴重な機会であり、全体を通して有意義な交流会となりました。



大成ロテック社員組合 東北支部 吉田 岳史



北陸地協



2019年5月30日（木）新潟県前カルチャーセンターにて、地協のない地域の交流会に参加させて頂きました。他社との交流や、他県の様々な状況を知ることができ、大変有意義な時間でした。昨年同様、連続休限取得に向けての取り組みや働き方改革の活動が多く、大変参考になりました。それぞれの職場で抱えている問題点、普段考えていること等、ざっくばらんに話し合うことが出来たと思います。現場負担を減らし、労働時間短縮を進め、連続休限取得に向けて取り組んでいる事がよく理解できました。より良い道路建設産業となるように、微力ではありますが、時短に向けた活動を継続していきたいと強く感じております。昨今の状況から他社との交流は少なくなりましたが、地協のない地域の交流会は大変参考になりますので、これからも継続していくことを願っております。

NIPPO労働組合 北信越支部 富田 真吉

ホームページのご紹介

道建労協では、加盟単組組合員への更なる情報発信ツールとして、ホームページを開設しております。

本部や地協の活動状況の報告に加えて、旬な話題・旬な情報を随時発信しています！

皆さん、奮ってアクセスして下さい！

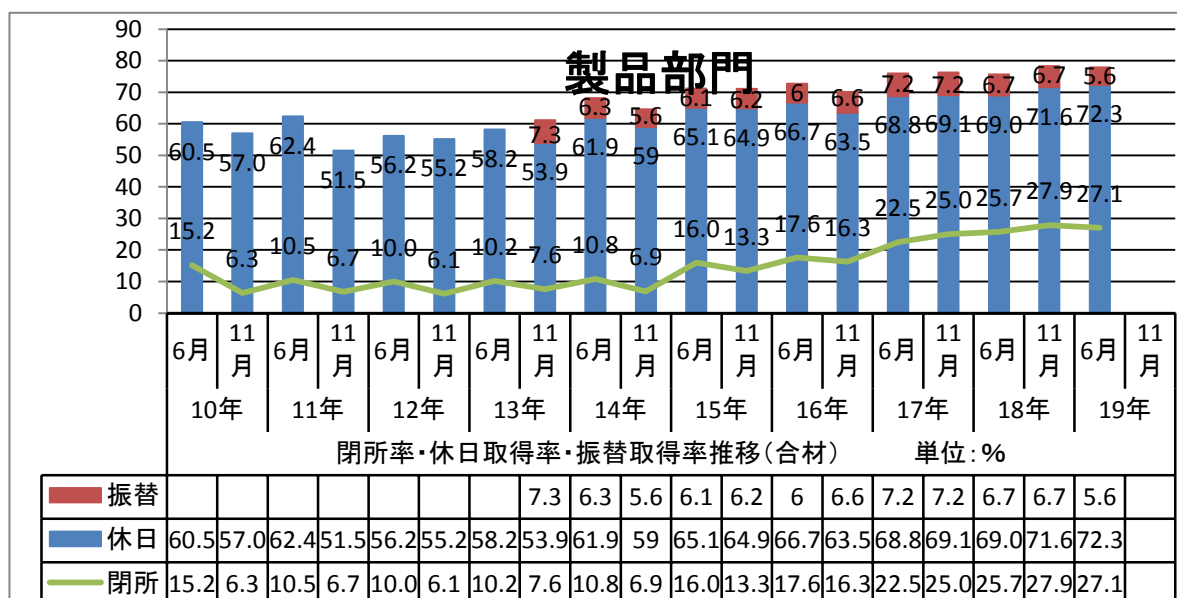
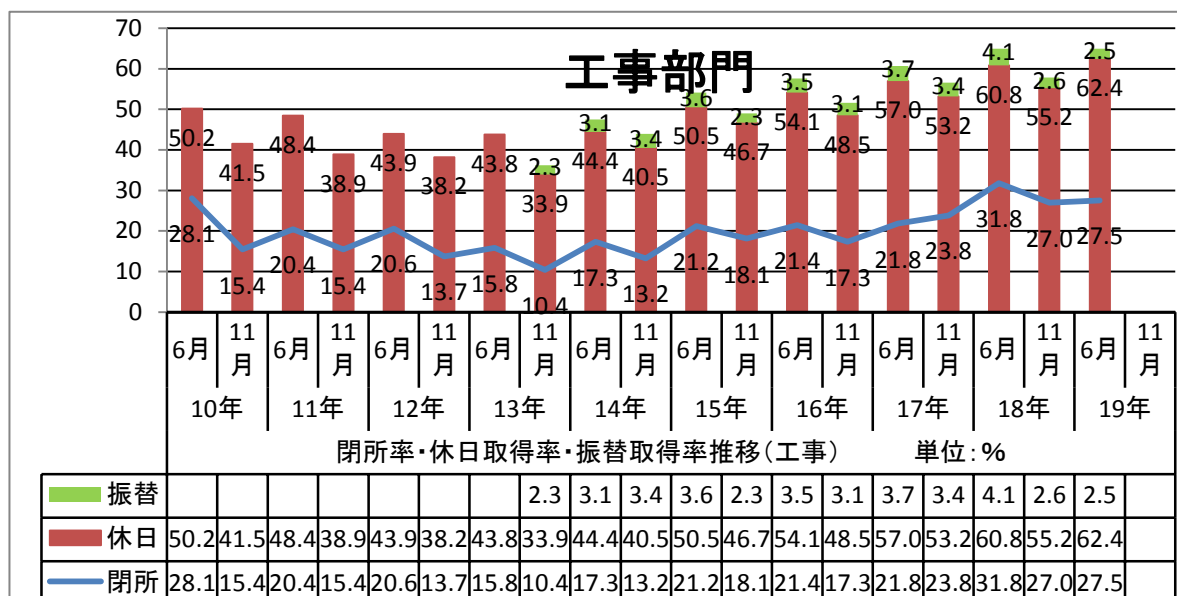
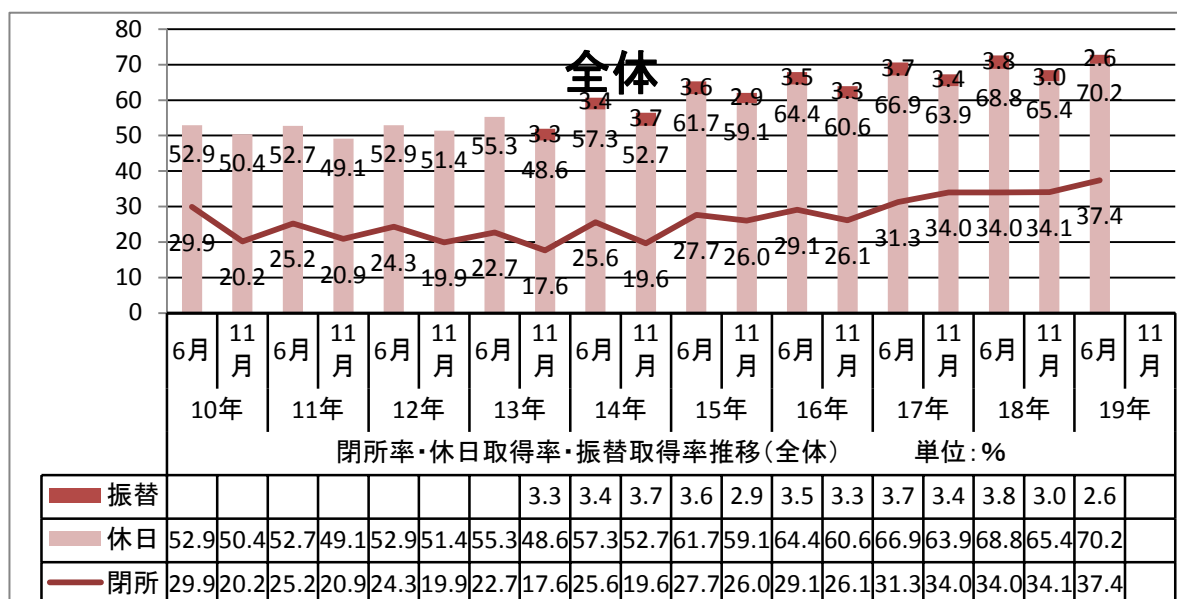
<http://www.doukenroukyou.com>

検 索



土曜閉所率・休日取得率の推移

※2019年6月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE 番外編」に掲載いたします。



新年度 役員紹介



**2019年7月19日開催の
第34回定期大会で
下記の方々が新役員となりました。**



赤田 淳
議長
(NIPPO 労働組合)



小林 和彦
副議長
(前田道路労働組合)



中島 雅浩
副議長
(大林道路職員組合)



山尾 浩仁郎
副議長
(大成ロテック社員組合)



龍王 嘉比土
事務局長
(前田道路労働組合)



後藤 陽平
中央執行委員
(NIPPO 労働組合)



尾崎 浩司
中央執行委員
(前田道路労働組合)



沢尾 賢一
中央執行委員
(三井住建道路労働組合)



増本 正博
中央執行委員
(フジタ道路職員組合)



豊田 将司
中央執行委員
(東京舗装工業社員労働組合)



上村 将広
会計監事
(大林道路職員組合)



大澤 哲夫
会計監事
(大成ロテック社員組合)

退任役員紹介

**第33回定期大会をもちまして、下記の方々が退任されました。
今後の各氏のご活躍を祈念するとともに、当協議会における
重責を全うされたことに感謝の意を申し上げます。**



松浦 孝
(前田道路労働組合)
任期：平成27年度～平成30年度
役職：副議長



尾崎 吉明
(大林道路職員組合)
任期：平成28年度～平成30年度
役職：副議長



江島 貴行
(大成ロテック社員組合)
任期：平成29年度～平成30年度
役職：副議長



八波 良一
(NIPPO労働組合)
任期：平成30年度
役職：中央執行委員



西田 達郎
(東京舗装工業社員労働組合)
任期：平成30年度
役職：中央執行委員

物知りクイズ

9月も終盤となり、秋気が肌にしみる季節となりましたが、おすこやかに過ごしてでしょうか。10月からクールビズが終了し、ネクタイを着用される方もいらっしゃるかと存じますが、気温の変化に留意頂き、お身体をご自愛ください。

2019年は前天皇陛下の退位に伴い、元号が平成から令和へと改元された記念すべき年となりました。平成は、さまざまな出来事がありました。道建労協加盟単組の組合員の方達は、人生の多くを平成で過ごされた方が多く、それぞれが平成に対する思い出を有していると存じます。

今回の「物知りクイズ」は、平成で起こった出来事から出題します。いろいろとありましたが、皆さんいくつ覚えているでしょうか？

Q1. 平成元年におこった政治的出来事とは？

①ベルリンの壁崩壊 ②ソ連崩壊 ③イラクがクウェートへ侵攻 ④バブル崩壊

Q2. 平成2年に任天堂から発売された「スーパーファミコン」本体の希望小売価格は？

①15,000円 ②19,800円 ③25,000円 ④29,800円

Q3. 平成で一番売れた曲（シングル）は？

①世界に一つだけの花（SMAP） ②おおよげ！たいやきくん！（子門正人） ③TSUNAMI（サザンオールスターズ）
④First Love（宇多田ヒカル）

Q4. 平成13年に行われた中央省庁の再編において新設された国土交通省の前身省庁として不適切なものは？

①国土庁 ②運輸省 ③沖縄開発局 ④北海道開発局

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。

たくさんのご応募をお待ちしております。

●解答 ●住所(会社宛の場合は会社名もご記入ください)

●氏名 ●所属単組名

●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。

●締め切り 2019年12月28日(金)

●宛先 〒135-0051 東京都江東区枝川2-13-1 前田道路労働組合内

道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛

FAX 03-6458-4085 E-mail: kumiai@maedaroad.co.jp

■PAVE97号物知りクイズ当選者

該当者なし

多数の応募をお待ちしております！！

編集後記

2019年4月1日より働き方改革関連法案の一部が施行され、有給休暇の義務化、建設業は適用除外であった36協定の時間外労働の上限規制適用（5年間の猶予期間あり）等、私たちの働き方に大きな変化がありました。

各社におかれましては、土曜閉所、ノー残業デー等これらの対策の強化を実施していることと思います。

国土交通省でも「適正な工期設定等のためのガイドライン」「建設業働き方改革加速化プログラム」等策定し、建設業の働き方改革を進めています。

私たち組合員も決められた時間に効率的に仕事を行う意識を持ち、生産性を下げない努力が必要であり、健康で充実した生活実現につなげることが重要です。

休暇を取りにくいイメージのある道路建設業において、深刻化を増す担い手不足解消にもつながるよう、関係各所と協力して明るい道を築いていきましょう。

東京舗装工業社員労働組合 豊田 将司